

令和7年6月6日

熊本の橋梁を支える皆さま

熊本大学 構造力学・構造システム研究室

松村 政秀

「橋のあり方を考える研究会」の開催について

地域インフラの持続的な維持管理や発展が大きな課題となっています。熊本において土木・構造・橋梁分野を専門とする大学等の数が減少する状況を踏まえ、熊本大学の構造力学研究室・構造システム研究室では、研究室学生の橋に関する知識のレベルアップを図るとともに、皆様と、橋梁の維持管理や設計に関する最新の知見を共有・深化させることを目的とした研究会を立ち上げ、年2-3回程度開催したいと考えております。

本研究会は、研究室の学生と実務に携わる皆様とが共に参加し、実務と教育・研究をつなぐ貴重な場、技術者間のネットワーク構築や若手技術者の育成支援にもつなげるべく、鋼橋、RC橋、PC橋、支承などの損傷メカニズムや補修・補強に関わる内容を取り上げ、熊本の橋のあり方を考えたいと思います。勉強会終了後には意見交換や交流の機会も設ける予定です。

つきましては、皆様にもぜひご参加いただき、研究会の開催、運営にご支援・ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

募集条件

本研究会の趣旨に賛同いただける以下の方

設計・施工者 橋梁に関する設計および施工の実務を担う担当技術者

官公庁職員 橋梁に関する実務に携わる方

第1回研究会は、令和7年7月31日（木）15:00～の開催予定です。

研究会に参加ご希望の方におかれましては、7月11日（金）まで、Googleformsにて参加申込をお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeHnsG1gFUvDKf-h1c6-9aTU91aJD3sfVQCp5l559l2RP15HQ/viewform?usp=header>

下記を明記のうえ、メールにてもお申し込みいただけます。

氏名、ふりがな、メールアドレス、勤務先・所属、研究会7/31への出席する/しない、意見交換会への出席する/しない、備考等（自由記述）

当日含め、下記までお問合せください。

問い合わせ先：熊本大学構造力学・構造システム研究室

助教 渡部慎也 watanabe-s@kumamoto-u.ac.jp